

# だい かい 第22回とやまアビリンピック2024

## ビルクリーニング ぎょうぎかだい 競技課題

### ◎ 一般的な注意事項

1. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
2. 作業に適した服装をしてください。帽子を着用してください。  
ゼッケンの紐が肩から落ちないように、安全ピン等でとめてください。
3. 作業開始の指示は審査員が行います。「始めます」「終わりました」の申告は、競技者自身で行ってください。
4. 所要時間(10分)が過ぎても作業は継続してください。

### ◎ 課題： 弾性床清掃及び机上清掃

1. 課題は時間が定められています。競技時間は、両部門とも10分以内です。
2. 作業面積は16㎡(4m×4m)とし幅木により区画されたものとします。
3. 床材質は体育館の木目の床面です。
4. ゴミ処理・床面の掃き・拭き作業及び机上拭きの作業です。
5. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを点検してください。
6. モップの柄は、長さが調整できるもので、作業前に自分で操作しやすい長さに調整してください。
7. 床のゴミは緑色の「おがくず」とし50ミリリットル程度をまいたものとします。
8. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

### □ 課題の内容

ビル内の事務室を想定し、指定時間内に挨拶から床面の掃き、拭き、机上拭きの「ビルクリーニング」で行われる基本作業を行ってください。

## <A部門 作業手順>

資機材準備 → あいさつ → 作業準備 → 入室あいさつ →  
イスを机の上に置く → ゴミ箱のゴミ回収 → ゴミ袋セット →  
ゴミ箱を机の上に置く → ダストモップによる除塵 →  
小型ほうきによるゴミ回収 → モップによる拭き作業 →  
イスとゴミ箱を元の位置に置く → ウェスによる机上拭き作業 →  
点検 → あいさつ → 資機材片付け → 終了

## <B部門 作業手順>

資機材準備 → あいさつ → 作業準備 → 入室あいさつ →  
ダストモップによる除塵 → 小型ほうきによるゴミ回収 →  
モップによる拭き作業 → ウェスによる机上拭き作業 →  
点検 → あいさつ → 資機材片付け → 終了

## ◎評価について

### □ 評価の観点

競技では、ビルクリーニングにおける基本動作「床面の掃き・拭き作業・机の上を拭く作業」を効率的な導線に基づいた作業の流れで、連続して作業を実施します。

#### 1. 評価する観点は

1つ目は「資機材の持ち方・安全な使い方」

2つ目は「確実な清掃技術」

3つ目は「サービス業としてのマナーと安全意識の徹底した作業」です。

2. 採点は、作業準備、作業動作(手順)、あいさつ、後始末、全体評価、作業時間の6面から審査し、加算方式によって行われます。

### □ A部門・B部門について

両部門の競技内容の違いはイスの有無とゴミ箱作業です。A部門はイスとゴミ箱の作業があり、B部門はイスとゴミ箱の作業がありません。

A部門とB部門の解散は一緒に行います。

A部門の最優秀者が全国大会へ出場する予定です。

しきざいいちらん  
【資機材一覧】

きょうぎかいじょう じゆんび  
1. 競技会場に準備されているもの

ひんめい 品名	すんぼうまた きかく 寸法又は規格	すうりよう 数量
さぎょうよう 作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	だい 1台
さぎょうひょうじばん 作業表示板		こ 1個
ワンタッチモップ柄 <sup>え</sup>	ワンタッチアルミ伸縮柄 <sup>しんしゆくえ</sup>	ほん 1本
ラージ(モップ房) <sup>ふさ</sup>		こ 1個
こがた 小型ぼうき		ほん 1本
かんしき 乾式モップヘッド		こ 1個
ぶんか 文化ちりとり		こ 1個
タオル	むじ みずぶ よう あおいろ 無地 水拭き用(青色) むじ からぶ よう しろいろ 無地 乾拭き用(白色)	まい 1枚 まい 1枚
ダスタークロス	はば ふしよくふ 69cm幅の不織布	1枚
ビニール袋 <sup>ぶくろ</sup>	ばこようか ぶくろ ゴミ箱用替え袋	1枚
つくえ 机	ぶもん ビルクリーニング技能検定資機材に準拠し た木製机 <sup>もくせいつくえ</sup> Bぶもん すちーるせい かたそでじ おつくえ B部門 スチール製片袖事務机	かく だい 各1台
イス	しきお パイプ式折りたたみ	きやく 1脚
ばこ ゴミ箱		こ 1個

せんしゆ じさん  
2. 選手が持参するもの

ひんめい 品名	すんぼうまた きかく 寸法又は規格	すうりよう 数量
さぎょうぎ うえ した 作業着(上・下)		ちやく 1着
さぎょうぼう 作業帽		こ 1個
さぎょうぐつ 作業靴		そく 1足

課題 弾性床清掃及び机上清掃 【時間:10分以内】

作業仕様1-1

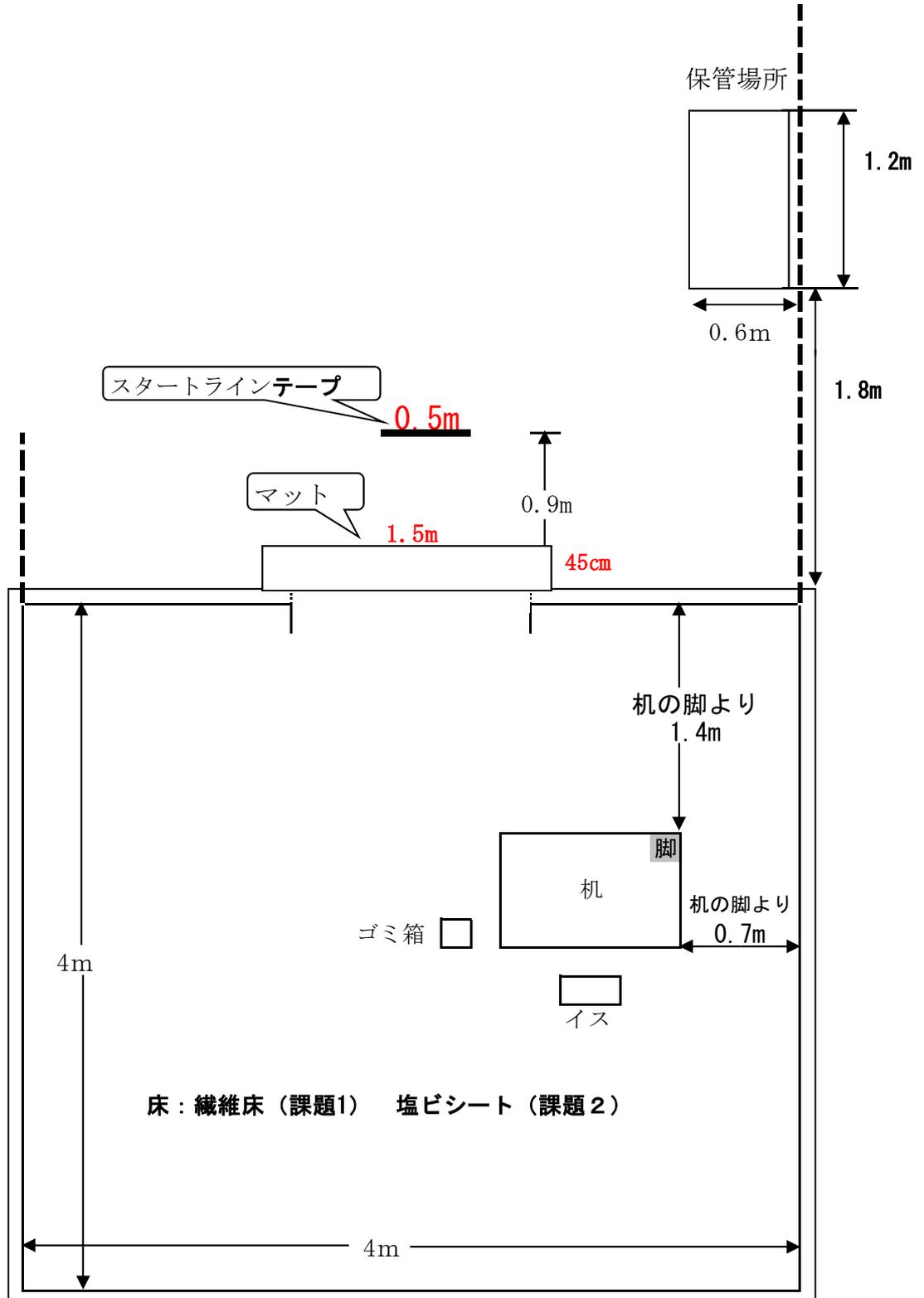
作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと)  ①柄の長さを調整する。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する。 ③①、②は事前に準備する。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。  柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドはカート上部の所定の位置に置く。	資機材の点検終了後、競技スタッフの指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	競技委員の始めの合図で「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	①作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。  ②作業表示板を立てる。	所定の位置に作業表示板を立てる。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し入室する。	声を出して申告する。
イス上げとゴミ処理 (1)イスを上げる (2)ゴミ回収 (3)ゴミ袋のセット ※A部門のみ	①作業前にイスを机の上上げる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を出口においてあるカートゴミ袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペア袋をゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上上げる。	机は動かさない。 イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。 ビニール袋を正しくセットする。 ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。	
除塵作業 (掃き作業)	①乾式モップを柄に装着し、外から入口を除塵し、作業場所へ入る。	ゴミを踏まないように足場を確保する。  ヘッドの辺は広い方を先行させる。	ゴミはおがくず(緑色)を50ml程度均等に撒いている。

	<p>②入口より奥に向かって右幅 木側・幅木側・机の下・中央部 へと順に作業を行う。</p> <p>③前進しながら出口に向かって 1箇所を集める。</p> <p>④ヘッドを柄から外す。</p> <p>⑤使用済みのダスタークロス をヘッドから外す。</p> <p>⑥柄とヘッドをカートに戻す。</p> <p>⑦小ぼうきと文化ちり取りを 持って集めたゴミをとる。</p> <p>⑧ゴミの取り残しがないか点検 する。</p> <p>⑨小ぼうき、文化ちり取りをカ ートに収める。</p>	<p>ヘッドを床から 離さない。</p> <p>使用済みクロスはカート の袋の中に入れる。</p> <p>ヘッドは、カート上部の 所定の位置に置く。</p> <p>ヘッドはスポンジ面 を上にして置く。</p> <p>ゴミの取り残しがあれば 小ぼうきと文化 ちり取りでゴミを 取り除く。</p>	<p>点検の際に声を 出さないこと。</p>
--	---	--	----------------------------

さぎょうしよう  
作業仕様1-2

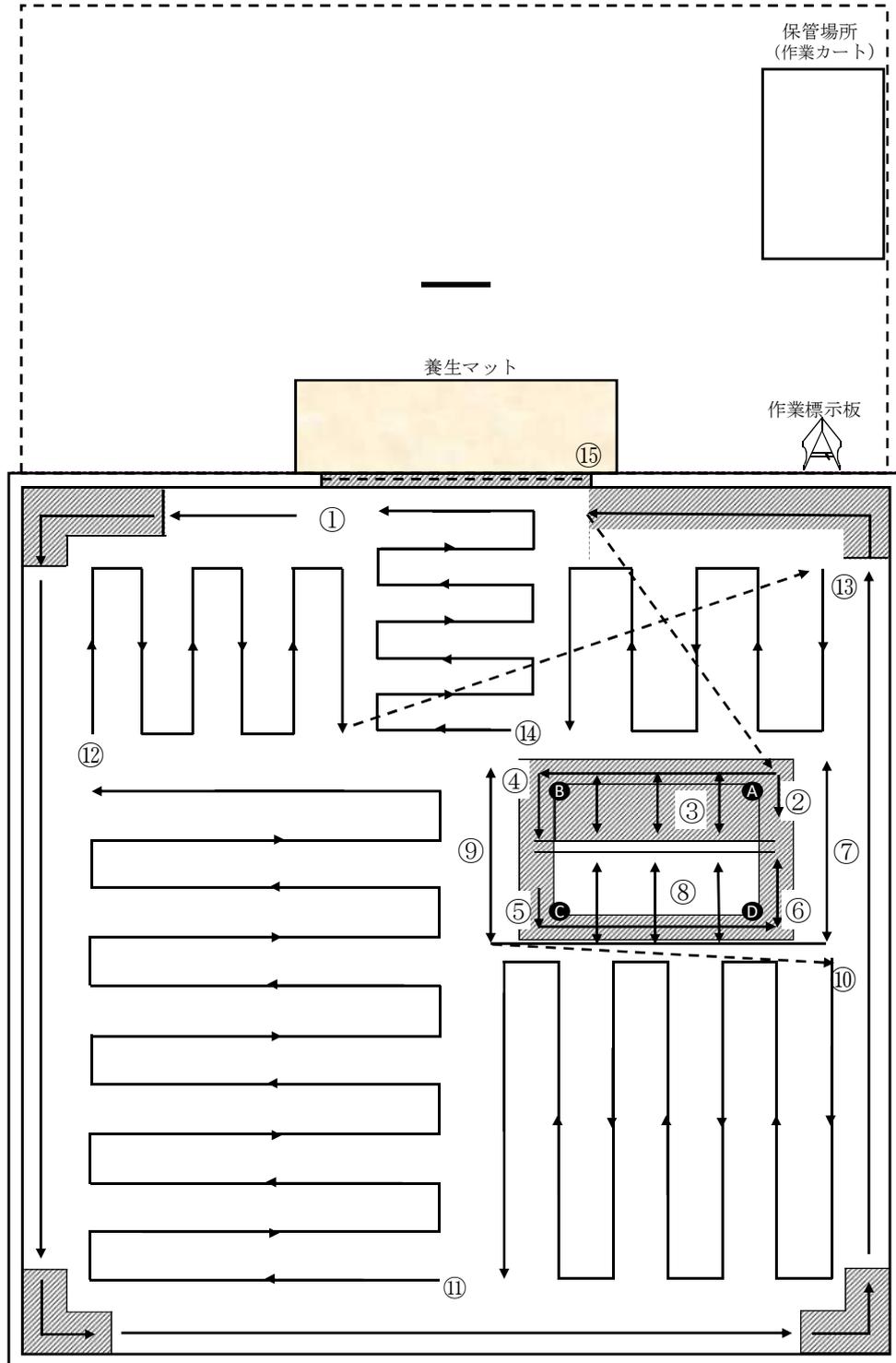
さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
みずぶ 水拭き(モップ)	①コート全面積を拭く。 ②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③コーナー周りに机の足元は手を添えておく。 ④モップは時々裏返し、モップ全体を使って、拭く。 ⑤モップは横置きとし、後退しながら拭く。	拭き残し、拭きむらのないようにする。 横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 幅木、机の脚部に触れないようにする。 拭いたところを踏まないようにする。	
ゴミ箱とイスを下ろす ※A部門のみ	あんぜん おと 安全に音をたてないように下ろす。	あし うえ お 足の上に落とさないように注意する。	
きじょうふ 机上拭き	①タオルを八折にして持つ。 ②机の縁を含めて、四隅から中央へと行う。 ③タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ④横拭き・縦拭きを行う。 ⑤机上を水拭きした後、タオルでから拭きを行う。 ⑥水拭きと同様に作業を行う。	拭き残し、拭きむらのないようにする。	
てんけん 点検	ゆびさ およ もくしてんけん おこなう 指差し及び目視点検を行う。	しきざい わす ごみ 資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	てんけん さい こえ 点検の際に声をださないこと。
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	てぐち しつない む 出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	<b>出口での左右確認</b> 「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	こえ だ しんこく 声を出して申告する。
しきざい かたづ 資機材の片付け	さぎょうけいじばん さぎょう 作業掲示板を作業カートに収納し、作業カートを所定の位置に戻す。		
しゅうりょうあいさつ 終了挨拶	しよてい いち た しゅうりょう 所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。	お 「終わりました」 「終了しました」等の意思表示を行う。	

# 標準配置図(モデル)





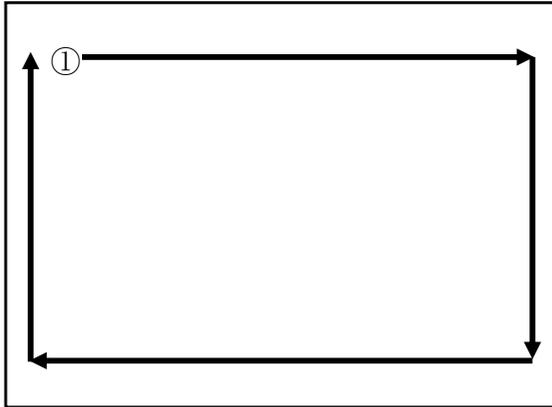
# 水拭きモップ作業手順



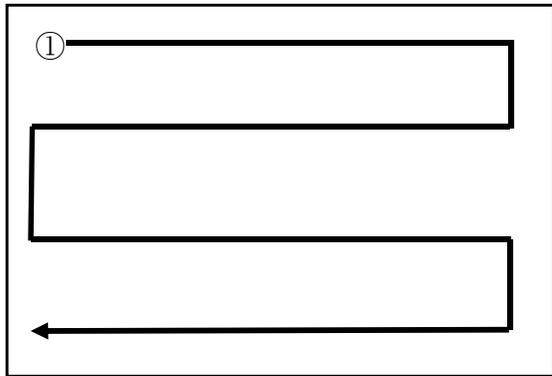
注：  印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 巾木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの足回りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④～⑥ B足、C足、D足の順に足回りを手を添えて拭く
- ⑦ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑧ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑨ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑩～⑭ スパンを決めて拭く
- ⑮ 入口を手を添えて拭く

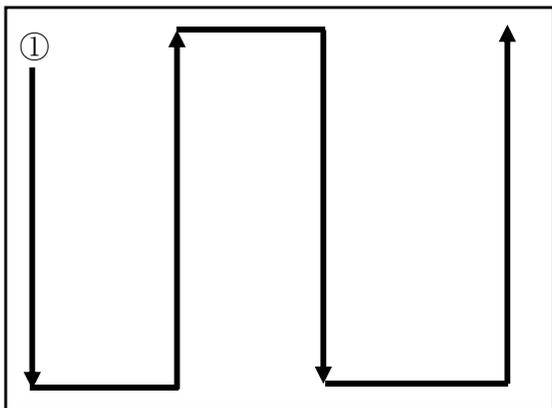
## 机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。  
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。  
(このとき、拭きムラの無いように注意します。  
また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。